記者発表資料

平成２８年　５月１８日
東北地方整備局
鳴瀬川総合開発調査事務所

発電規模を検討する者として東北電力を特定

～筒砂子ダムの発電規模を検討する者の公募結果～

鳴瀬川総合開発事業として建設を計画している筒砂子ダムにおいて、新たにダムの利水放流を利用した水力発電の規模を検討する者として東北電力株式会社を特定しましたのでお知らせ致します。

昨年 12 月、筒砂子ダムの利水放流を利用して発電を行う実施者（電気事業者等）を特定する前段として、発電規模の検討を行う者を公募しておりました。

公募の結果、東北電力株式会社から参加意思確認書及び発電規模検討書が提出されたことから、平成２８年５月１８日、発電規模を検討する者として同社を特定しました。

なお、筒砂子ダムへの正式な発電参画者については、特定多目的ダム法に基づく「ダム使用権の設定予定者(同法第 4 条第 2 項第五号)」の手続きを経て決定されます。

＜発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会、古川記者クラブ＞

問　合　せ　先

国土交通省　東北地方整備局　鳴瀬川総合課発調査事務所
宮城県大崎市古川旭三丁目８－１８
電話：0229-22-7811（代表）
調査設計課長　齊藤　勝博（まさひろ）（内線 351）

鳴瀬川総合開発調査事務所では、鳴瀬川の沿川地域を洪水から守り、また、かんがい用水の確保等を目的とした、ダム建設（筒砂子ダム規模拡大〔新規〕、漆沢ダム〔既設ダムの容量再編〕）に係る調査検討を進めています。

（参考資料）

筒砂子ダムにおける発電公募の概要

１．概要

本公募は、河川法第 16 条の 2 に基づき策定した鳴瀬川水系河川整備計画(平成 26 年 8 月変更)の一環として実施する「鳴瀬川総合開発事業（筒砂子ダム規模拡大＋漆沢ダム容量再編)」のうち、新たに建設する筒砂子ダムにおいて、社会資本の有効活用の観点からダムの目的となっている水利使用の運用を利用して行うダム水力発電（いわゆる従属発電）を行う実施者（電気事業者等）を特定する前段として、発電規模の検討を行う者を公募したものです。

２．公募の経緯

・H26.08.08　鳴瀬川水系河川整備計画変更（ダム検証結果を位置付け）

・H27.12.25　発電規模検討の参加意思を求める公募の実施（応募期限は 1/29）

・H28.01.22　東北電力から参加意思確認書の提出（提出は 1 社のみ）

・H28.02.01　国交省から東北電力へ発電規模検討書の提出を要請

・H28.04.08　東北電力から発電規模検討書の提出